

令和3年10月20日（水）

山本一太群馬県知事

臨時記者会見

豚熱（CSF）の発生状況

▶ 農場の所在地

前橋市内

▶ 飼養頭数

約 3,900頭

近隣農場

- 3 km圏内 **18**か所 ※移動制限なし（ワクチン接種済）
- 3～10 km圏内 **107**か所 ※搬出制限なし（ワクチン接種済）

経緯：第一報から陽性確定まで

10月18日

20時50分 **第一報** (豚の死亡が増加)

10月19日

0時30分 **検査開始** (県家畜衛生研究所)

12時55分 **検査終了** (県家畜衛生研究所) ▶ **疑似患畜**

21時00分 **確定検査** (国の検査機関) ▶ **患畜確定**

今後の対応

殺処分



当該農場の消毒



付近の消毒

- ・ **全頭処分**し、埋却（約3,900頭）
- ・ 埋却と併行して実施
- ・ 消毒ポイント設置（3か所）

国と連携し、感染経路等の**原因究明**を

県民の皆さまへ

豚熱は**人**に**感染**しません

豚熱は、豚・イノシシの病気です

感染豚の**肉**は**市場**に**出回り**ません

仮に、感染した豚の肉を食べても、人体に影響はありません

社会経済活動再開に向けたガイドライン

全県

敬告
警戒度

2

10/22(金) ▶ 11/5(金) の15日間

警戒度移行の判断基準 <客観的な数値>

項目		基準の内容		現在値 (10/19)	先週 (10/12)
1 感染状況	(1)新規感染者数	1日平均	20人	<u>5.7</u> 人 [↘]	<u>7.7</u> 人
	(2)経路不明の感染者数	全体に占める割合	50%	<u>47.5</u> % [↘]	<u>50.0</u> %
	(3)検査の陽性率	平均	7%	<u>0.9</u> % [↘]	<u>1.0</u> %
2 医療提供体制	(1)重症例への診療体制	①人工呼吸器使用 (76台中)	1 / 2	<u>1</u> 台 [↘]	<u>3</u> 台
		②うちECMO使用 (12台中)	1 / 3	<u>0</u> 台 [→]	<u>0</u> 台
	(2)病床の稼働率	感染者用 確保病床の稼働率 (509床中)	警戒度4 70%以上 警戒度3 40%以上 警戒度2 15%以上 警戒度1 15%未満	<u>3.3</u> % [↘]	<u>4.3</u> %
参考	宿泊療養施設の稼働状況	軽症者用 宿泊療養施設の入居者数 (1319室中)	—	<u>22</u> 人 [↘]	<u>32</u> 人

※各判断基準は、現状の医療提供体制を逼迫させないことを基にしているため、今後の体制整備の進展に合わせ、基準も変動します。

※(1)~(3)は1週間の移動平均。新規感染者は、公表ベースです。

警戒度2における要請

(ポイントのみ抜粋)

個人【外出】	事業者	学校
<p>3密のリスクが高い場所 高齢者・基礎疾患のある方 感染拡大都道府県</p> <p>十分注意</p>	<p>感染防止対策の徹底</p> <p>新しい働き方の推進 (テレワーク3割目標)</p>	<p>通常登校を継続</p> <p>部活動は通常活動</p> <p>※対外試合は 宿泊を伴わないもののみ可</p>

ホームパーティー、大人数での会食・飲み会
慎重に判断